

八頭町総合戦略（案）

鳥取県八頭町
平成27年8月

I 基本的な考え方

1 戦略策定の趣旨・位置づけ

- ・ 人口減少問題に対応するため、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案するとともに、「八頭町人口減少対策ビジョン」、「八頭町人口ビジョン」を踏まえ、今後5か年の政策目標や施策の基本的方向性、主な施策を示す。

2 計画期間

- ・ 平成27年度～平成31年度

3 進捗管理

- ・ 数値目標と重要業績評価指標（KPI：key Performance Indicator）を基にしたPDCAサイクルにより進捗管理を実施し、その結果を踏まえ、事業の継続・変更・中止等の見直しを行う。
- ・ そのため、本戦略はあくまで、平成27年9月時点のものであり、八頭町総合戦略策定委員会と同様、産官学金労言等の関係者が参加した組織による検証体制を確保し、継続的に内容の見直しを行う。

II 総合戦略

1 総合目標

- ・ 平成32年の人口：17,000人

2 基本的な考え方

- ・ 人口減少の進行を緩和するためには、これから結婚・出産する世代、子どもがいる世代の流入増・流出減が必要。このため、特に、子育て世代をターゲットにした取組が必要。
- ・ そのためには、何より子育て世代が安定した収入を得ることができる**働く場の確保**が必要。その際には、フルーツをはじめとする農林水産業や商工業といった地域産業の強化に加え、新たな企業の誘致や観光の促進等新たな地域の強みをつくる「出る杭をのばす」取組が重要。
- ・ さらに、人口減少の進行を緩和するためには、**結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備**が必要。
- ・ 併せて、こうした取組をPRし、積極的な**人の呼び込み**を行う。その際には、豊かな自然が残る良好な環境と、県庁所在地である鳥取市に隣接し、現在でも約5,000人が鳥取市に通勤・通学しているという地理的有利性という本町の持つ強みを意識した取組が重要。
- ・ また、こうした取組を実施したとしても、人口が減少していくという現実を見据えた上で、**将来にわたり暮らし続けることができる環境**を計画的に整備していくことが必要。
- ・ こうした取組により、「八頭町人口減少対策ビジョン」で示した**「笑顔あふれる住みよいまち 住むなら八頭町」**の実現を目指す。

3 重点取組事項

- ・ 2の基本的な考え方にに基づき、4の基本戦略により各事業を総合的に実施していくこととするが、八頭町の特性や課題を踏まえ、特に以下の事項について重点的に取り組むこととする。

(1) 八頭イノベーション・バレーの創設（サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施）

- ・ 製造業等の大型の工場誘致が困難となる一方で、IT関係などインターネット環境を活用し、場所にとらわれることなく就業可能な業務が増加してきていることを踏まえ、学校の跡地など空き施設を活用し、企業等の本拠から離れた場所に設置するオフィス（サテライトオフィス）の開設など情報関係企業等の誘致を行い、新たな雇用の場を創出し、革新的な起業家（イノベーター）が活躍・発信するまちを創設する。

【重要業績評価指標（KPI）：誘致企業数 5社（1社/年）】

(2) 因幡但馬海幸・山幸回廊の創設（若桜鉄道等を活用した観光振興）

- ・ 重要な公共交通であり観光資源ともなりうる若桜鉄道について、継続的な事業運営が可能となる支援を行うとともに、鳥取東部・因幡地域と但馬地域が連携し、若桜鉄道等を活用した広域観光ルート（海幸・山幸回廊）の創設などの広域観光を推進する。併せて、若桜鉄道のPRを積極的に行う。

【重要業績評価指標（KPI）：若桜鉄道乗客数 410,000人/年
公共交通網形成計画の策定（平成28年度）】

(3) 八頭フルーツ街道の継承（果樹栽培の振興と後継者の養成）

- ・ 八頭町の豊かな自然環境を活用した基幹産業である農林業の中でも、特に後継者不足が課題となっている果樹栽培について、後継者を育成するため、研修体制を整備し後継者の養成を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：後継者の養成 5人（1人/年）】

(4) 安心子育て・いきいき学習のまち八頭の創設（子育て・教育環境の整備）

- ・ 県庁所在地である鳥取市の隣接地としての地の利も活かし、特に子育て世代の町外で働く方が住みたくなる環境、また、町内に住まれている方が引き続き町内に住み続けたくなる環境をつくる観点から、保育料の軽減（P）、乳児保育や休日保育など多様な保育サービスの充実、放課後児童クラブの延長預かりといった子育て環境を整備するとともに、少人数学級によるきめ細やかな指導体制やICTを活用した授業の充実など教育環境の充実を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：統合保育所での多様な保育サービスの実施、
小学校30人以下、中学校33人以下、
電子黒板11台、ノートパソコン11台、
書画カメラ12台、タブレット型PC286台】

4 基本戦略

① まちの資源や特性を活かした働く場の確保

i) 数値目標

- ・ 就業者数：9,000人（就業率60%）（平成32年国勢調査）
- ・ 観光客数：350,000人（平成31年）

ii) 基本的方向

- ・ 人々が地域に定着するために必須となる、安定的な所得が得られる就業の場を確保する。
- ・ 特に、若者や子育て世代が働きたくなる魅力的な就業の場をつくることを目指し、「出る杭を延ばす」という観点で、フルーツをはじめ農林水産業や商工業を中心とする地域産業の競争力を高めるとともに、積極的な企業誘致や観光振興などによる新たな雇用の場の創出を目指す。

iii) 主な施策

農林業をはじめとする地域産業の競争力を強化するとともに、担い手を確保する。

【具体的な取組事項】

○大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等

- ・ 大規模農業・林業の支援や、遊休農地、耕作放棄地等の有効利用等を推進する。また、それによる雇用の確保・拡大を図る。

【重要業績評価指標（KPI）：雇用確保 15人（3人/年）】

○地場産業の支援や6次産業化による雇用の確保

- ・ 規制緩和の実施を含め町内で活躍する企業・地場産業の取組を支援するとともに、1次産業の6次産業化の支援を行う。また、それによる雇用の確保を図る。

【重要業績評価指標（KPI）：雇用確保 15人（3人/年）】

○農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備

- ・ 後継者不足の解消を図る観点から、就農を希望する人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：新規就農者 5人（1人/年）】

○果樹栽培の後継者の育成【再掲】

- ・ 特に後継者不足が課題となっている果樹栽培について、後継者を育成するため、研修体制を整備し後継者の養成を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：後継者の養成 5人（1人/年）】

○鳥獣害対策の促進

- ・近年増加しているイノシシやシカ等による鳥獣被害を軽減し、農林業収益を増加又は維持するため、狩猟免許の新規取得促進や電気柵やワイヤーメッシュ柵等の侵入防止柵設置支援を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：新規狩猟免許取得者 15人（3人/年）
防止柵設置延長 5,000m（1,000m/年）】

○高校・大学との連携強化（人材の活用）

- ・八頭高校や公立鳥取環境大学、鳥取大学と連携し、町内フィールドワークの実施や、大学の人材や教育、研究、社会貢献機能を活用した取組を進める。

【重要業績評価指標（KPI）：連携事業数（高校） 2件/年
連携事業数（大学） 3件/年】

○町が必要とする人材の募集

- ・町が必要とする能力・機能を具体的に提示して募集を行い、その能力を持つ人に仕事ごと移り住んでもらうなどの取組を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：仕事ごとの定住 5件（1件/年）】

サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致を実施するなど、新たな産業や雇用の場を創出する。

【具体的な取組事項】

○サテライトオフィスの開設など戦略的な企業誘致の実施によるイノベーター創造地域の創設【再掲】

- ・学校の跡地など空き施設を活用し、企業等の本拠から離れた所に設置するオフィス（サテライトオフィス）の開設など情報関係企業等の誘致を行い、新たな雇用の場を創出し、革新的な起業家（イノベーター）が活躍・発信するまちを創設する。

【重要業績評価指標（KPI）：誘致企業数 5社（1社/年）】

○鳥取県や他市町村と連携した企業誘致の促進

- ・鳥取県や他市町村と連携し、八頭町内に限らず、鳥取県東部圏域への企業誘致を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：
誘致企業数（東部圏域のうち八頭町内） 5社（1社/年）】

○誘致企業や新規進出企業、起業に対する支援策の充実

- ・新たに町内に進出する企業に対し、法人町民税や固定資産税の負担軽減助成を行うなど誘致企業や起業に対する支援を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：誘致企業数 5社（1社/年）
新規起業数 5社（1社/年）】

若桜鉄道等を活用した広域観光ルートの創設など、地域の特性を活かした観光振興を行う。

【具体的な取組事項】

○若桜鉄道等を活用した観光振興【再掲】

- ・鳥取東部・因幡地域と但馬地域が連携し、若桜鉄道等を活用した広域観光ルート（海幸・山幸回廊）の創設などの広域観光を推進する。併せて、若桜鉄道のPRを積極的に行う。

【重要業績評価指標（KPI）：若桜鉄道乗客数 410,000人/年】

○消費者のニーズを踏まえたマーケットイン型の観光商品の開発

- ・鳥取県観光連盟と連携し、調査により把握した消費者のニーズを踏まえた観光商品（マーケットイン型観光商品）の開発を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：観光商品数 15件（3件/年）】

○八頭町をイメージアップする情報発信の強化

- ・広報にあたってのキャッチフレーズやデザイン、ホームページの在り方など八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、積極的な情報発信を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：ホームページアクセス数 150,000件/年】

② 結婚・出産の希望がかなえられる子育て環境の整備

i) 数値目標

- ・年間出生数：140人（平成31年人口移動調査）

ii) 基本的方向

- ・人口の自然減に対しては、出生率の向上が重要であり、結婚・出産が個人の意思に基づくものであることは基本としつつ、結婚・出産を望む方の希望がかなえられるよう、結婚、出産、子育て、教育に係る支援を行い、子どもを産み、育てやすい環境を整備する。

iii) 主な施策

若い世代の交流・活動の活性化の支援

【具体的な取組事項】

○若者の交流、社交の場の確保（空き施設等利用）

- ・空き施設等も利用し、積極的なイベントの開催等により、若者の交流、社交の場を確保する。

【重要業績評価指標（KPI）：イベント回数 H27 8回、H28 9回、H29 10回、
H30 11回、H31 12回
参加者数 H27 400人、H28 450人、H29 500人、
H30 550人、H31 600人】

○青年団（組織）の育成支援

- ・若者の交流の場としての青年団（組織）の育成支援を行う。またそのための中核人材となるリーダーを養成する。

【重要業績評価指標（KPI）：青年団発足 1団体
リーダー養成 15人（3人/年）】

結婚・妊娠・出産・子育ての支援

【具体的な取組事項】

○まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座の開催

- ・婚活イベントを開催する団体・企業への支援制度を創設するなど、まちコンなどの婚活イベントや出会いのための自分磨き講座を開催する。

【重要業績評価指標（KPI）：婚活イベント支援件数 15件（3件/年）
イベント参加者数 500人（100人/年）】

○不妊治療の支援の実施

- ・不妊治療を受けている方への治療費の助成を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：希望者の申請により、助成を実施】

○男性の子育てへの参画の推進

- ・働きながら育児や子育て、介護を行うことができる企業の普及・啓発を行い、男性の子育てへの参画を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）：鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24社】

○子どものための絵本等の充実

- ・図書館において、子どものための絵本や児童書の充実を図る。

【重要業績評価指標（KPI）：絵本 450冊/年

児童書 450冊/年】

子どもを育てながら働き続けられる環境の整備

【具体的な取組事項】

○子育て中の親が情報を共有できる場、安心して働ける環境の拡充

- ・子育て支援センターや放課後児童クラブ、ファミリーサポートセンター等の充実により、子育て中の親が情報を共有できる場、安心して働ける環境を拡充する。【一部再掲】

【重要業績評価指標（KPI）：3歳未満の子どもの数に対する支援センター登録者数の割合 45%

放課後児童クラブ利用者 120人/年

ファミリーサポートセンター依頼会員に対する支援会員の割合 30%】

○保育施設の環境整備

- ・保育施設の統合を行うとともに、乳児保育や休日保育など多様な保育サービスの充実を行う。併せて、子育て環境整備のため、保育所型認定こども園の創設を推進する。【一部再掲】

【重要業績評価指標（KPI）：統合保育所での多様な保育サービスの実施
保育所型認定こども園創設 1園】

○保育料の軽減

- ・第3子以降の保育料の無償化を継続する。（追加軽減策について検討中）

【重要業績評価指標（KPI）： 】

- 仕事と育児・介護とが両立できる企業の普及啓発
 - ・働きながら育児や子育て、介護を行うことができる企業の普及・啓発を行い、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを推進する。【再掲】
 - 【重要業績評価指標（KPI）：鳥取県男女共同参画推進認定企業数 24 社】

教育環境の整備

【具体的な取組事項】

- 義務教育施設の整備・充実
 - ・小学校の再編を進めると同時に、施設の老朽化や統合に伴う施設改修を行い、既存施設の有効利用を図る。
 - 【重要業績評価指標（KPI）：小学校数 8 校→4 校】

- 小中学校における少人数学級への取組【再掲】
 - ・小学校 30 人以下、中学校 33 人以下の学級編成によるきめ細やかな指導体制の整備を行う。
 - 【重要業績評価指標（KPI）：小学校 30 人以下、中学校 33 人以下】

- ICT を活用した授業の充実【再掲】
 - ・タブレット端末や電子黒板など ICT を活用した授業の充実を行う。
 - 【重要業績評価指標（KPI）：電子黒板 11 台、ノートパソコン 11 台
書画カメラ 12 台、タブレット型 PC 286 台】

- 学校給食におけるアレルギー対応食の充実
 - ・アレルギーを持つ児童生徒に対し、アレルギー対応給食を提供する。
 - 【重要業績評価指標（KPI）：保護者の申請によりアレルギー対応食を提供】

③ まちへの人の流れをつくる

i) 数値目標

年間転入者数：450 人（平成 31 年人口移動調査）

年間転出者数：450 人（平成 31 年人口移動調査）

ii) 基本的方向

- ・ 雇用の場をつくり、子育て環境を整備するとともに、人口の社会減の流れを変えるため、県庁所在地である鳥取市の隣接地としての地の利も活かし、IJU ターンを含む移住・定住促進を積極的に推進する。

iii) 主な施策

移住・定住しやすい環境の整備

【具体的な取組事項】

○鳥取市のベッドタウン化を促進するための道路や宅地等の整備

- ・ 鳥取市の隣接地という地の利を活かし、連絡道路等の整備や宅地造成を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：宅地造成 74 戸】

○公共交通体制の見直し

- ・ 若桜鉄道をはじめとする地域交通体制の在り方について、継続的な事業運営が可能となる支援を実施しつつ、利用者のニーズや人口減少への対応等の観点から見直しを行う。

【重要業績評価指標（KPI）：公共交通網形成計画の策定（平成 28 年度）】

積極的な転入希望者の掘り起しと転入希望者・転入者への支援

【具体的な取組事項】

○八頭町をイメージアップする情報発信の強化

- ・ 広報にあたってのキャッチフレーズやデザイン、ホームページの在り方など八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、積極的な情報発信を行う。【再掲】
- ・ 特に、IJU ターン者の掘り起しに際しては、八頭町における子育て支援施策について積極的な PR を実施する。

【重要業績評価指標（KPI）：ホームページアクセス数 150,000 件/年】

○鳥取東部市町が連携して実施する移住定住の促進

- ・鳥取県東部1市4町で連携し、移住定住に向けての活動を行い、地域としての移住定住者の獲得を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：圏域外からの転入者数 2世帯/年
移住・定住相談者数 20人/年】

○IJU ターン者の獲得に向けたイベントの開催や支援体制の構築

- ・IJU ターン者の獲得に向けた移住定住相談会や交流イベントを開催する。
- ・移住定住希望者等に一元的に対応する相談員を配置する。
- ・IJU ターン者への就労支援を実施するとともに、お試し住宅の整備を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：移住受入 10世帯（2世帯/年）
就労支援数 15人（3人/年）】

○都市部との交流の促進

- ・交流人口を増やすため、都市部の市町村や団体等と集落等との交流を促進し、八頭町の魅力を体験するための取組を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：都市部との新規交流 5件（1件/年）】

○空き家の活用や新築住宅の取得の支援

- ・空き家情報の総合管理を行い、一元的な情報提供を実施する。
- ・空き家入居者に対するリフォーム補助制度を創設するとともに、空き家を取得して定住される方を対象に固定資産税の負担軽減助成を行う。
- ・新築住宅を取得した方を対象に固定資産税の負担軽減助成を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：移住受入 10世帯（2世帯/年）
空き家入居者 2世帯/年
新築家屋 100棟（20棟/年）】

○農業がしたい人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備【再掲】

- ・後継者不足の解消を図る観点から、就農を希望する人材を募集し、定住につなげる支援制度の整備を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：新規就農者 5人（1人/年）】

○町が必要とする人材の募集【再掲】

- ・町が必要とする能力・機能を具体的に提示して募集を行い、その能力を持つ人に仕事ごと移り住んでもらうなどの取組を促進する。

【重要業績評価指標（KPI）：仕事ごとの定住 5件（1件/年）】

④ 将来にわたり暮らし続けることができる環境をつくる

i) 数値目標

八頭町にこれからも住み続けたいと思う方の割合

: 80% (平成 31 年住民アンケート)

ii) 基本的方向

- ・ 人口が減少していくという現実を見据え、集落機能や地域活動の支援を行い、にぎわいのあるまちを維持しつつ、将来にわたり暮らし続けることができる環境を計画的に整備する。

iii) 主な施策

にぎわいがあり魅力あるまちづくり

【具体的な取事項】

○八頭町をイメージアップする情報発信の強化【再掲】

- ・ 広報にあたってのキャッチフレーズやデザイン、ホームページの在り方など八頭町を積極的に売り出すためのイメージ戦略を検討し、積極的な情報発信を行う。

【重要業績評価指標 (KPI) : ホームページアクセス数 150,000 件/年】

○八頭町まるごとスポーツパーク構想

- ・ スポーツ大会の誘致を行い、東京オリンピック・パラリンピック大会におけるホッケー競技のキャンプ地誘致に努める。

【重要業績評価指標 (KPI) : キャンプ地誘致 1 か国】

○積極的なイベントの開催・支援

- ・ 積極的なイベントの開催や地域における様々な活動、イベントの支援を行う。

【重要業績評価指標 (KPI) : 魅力あるまちづくり事業 5 事業/年

婚活事業 3 事業/年

イベント支援数 (観光協会) H27 11 件、H28 12 件、H29 13 件、H30 14 件、H31 15 件】

○町民健康食育モニタリングの実施

- ・ 代表世帯の食事をモニターし、結果の公表により、地産地消、食育、健康増進の意識付けを行う。

【重要業績評価指標 (KPI) : 参加者数 80 人/年】

○特色ある地域活性化の拠点施設の整備

- ・空き施設や古民家などを、学習、カルチャー、サテライトオフィスなど特色ある地域活性化の拠点として活用する。

【重要業績評価指標（KPI）：空き施設の活用 5件（1件/年）】

○地域おこし協力隊による地域の活性化

- ・受け入れに前向きな集落へ地域おこし協力隊の派遣を行い、集落の活性化を図る。

【重要業績評価指標（KPI）：派遣隊員 6人/年】

○郷土芸能、芸術・文化の振興

- ・郷土芸能、芸術・文化の振興・後継者の養成等を行うためのイベントを開催する。

【重要業績評価指標（KPI）：参加者数 150人/年】

○八頭町オリジナル教室の開催

- ・トップアスリート派遣事業や芸術宅配便の積極的活用など八頭町オリジナル教室を開催する。

【重要業績評価指標（KPI）：参加者数 50人/年】

将来にわたり暮らし続けることができる環境の整備

【具体的な取組事項】

○地域の中心部における医療機関、商業施設、公共施設等の集約

- ・郡家・船岡・八東各地域の中心部における医療機関、商業施設、公共施設等の集約を検討・推進する。

【重要業績評価指標（KPI）：3地域】

○保育施設の環境整備【再掲】

- ・保育施設の統合を行うとともに、乳児保育や休日保育など多様な保育サービスの充実を行う。併せて、子育て環境整備のため、保育所型認定こども園の創設を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）：統合保育所での多様な保育サービスの実施
保育所型認定こども園創設 1園】

○訪問看護ステーションサテライト施設の開設

- ・訪問看護ステーションのサテライト施設を町内に設置し、在宅医療・介護体制の充実を図る。

【重要業績評価指標（KPI）：設置数 1か所、利用者数 25人】

○地域の福祉拠点の整備

- ・地域における福祉活動の拠点となる施設を整備し、地域福祉を推進する。

【重要業績評価指標（KPI）：整備数 12 施設（地区）】

○買い物弱者に対する買い物サービスの充実等高齢者への支援

- ・移動販売車により、高齢者など買い物弱者に対する買い物サービスやタクシー助成による移動の支援を実施する。また、高齢者のメディア活用について支援を行う。

【重要業績評価指標（KPI）：買い物サービス利用者数 9,000 人/年

タクシー助成登録者数 1,300 人/年

メディア活用支援利用者数 40 人/年】

○公共交通体制の見直し【再掲】

- ・若桜鉄道をはじめとする地域交通体制の在り方について、継続的な事業運営が可能となる支援を実施しつつ、利用者のニーズや人口減少への対応等の観点から見直しを行う。

【重要業績評価指標（KPI）：公共交通網形成計画の策定（平成 28 年度）】